

屋久島生態系モニタリング

屋久島西部地域における ヤクタネゴヨウ生育調査 (平成 21 年度)

**ヤクタネゴヨウ単木モニタリング調査

【調査方法】樹高、胸高直径、活力状況を調査した。活力状況は i 樹勢、ii 樹形、iii 梢端部、iv 枝の状況、v 着葉状況、vi 根元・幹、vii 表層土壌、異常内容の記録および総合評価(i ~ vii の評価点 (22 点満点) の採点による相対評価と、異常内容を加味した総合的な活力状態の評価)を行った。

【5 年前との経年変化等の分析】活力度(評価項目ごとの評価点の計)の平均値は、5 年前は 18.5 であったのが、今回は、18.0 と 0.5 ポイント減少していた。評価項目ごとの数値や活力度は、数値が大きい方がより活力が旺盛であるとの評価につながる。そういう意味では、5 年前と比較し全体的に僅かながら活力勢が減少しつつある。評価項目別の平均値を見ると、i 樹勢や ii 樹形及び v 着葉状況は僅かながら増加していて、特に着葉状況は梢端部分の着葉量の増加が数本で確認され、より活力が旺盛になりつつある個体も少なくない。

しかし、vi 根元・幹の評価項目の平均値の減少が顕著であり、全体的な活力度の減少につながっている。

活力度は、標高が高いほど、樹高が高いほど、胸高直径が太いほど、高くなる傾向が見られるが、前回から今回にかけての活力度の変化を見ると、標高や樹高や胸高直径との関係より、シロアリ穿入痕の有無と活力との関連性が見られた。



4 月 17 日縄文杉登山道での検討

① 縄文杉周辺登山道の暫定迂回路の改修等② 縄文杉大枝の再調査と落下危険性の減少のための追加措置③ 縄文杉周辺の整備

平成 25 年 4 月 17 日(水) 18 日(木)、本年度第一回の屋久島世界遺産地域連絡会議幹事会が開かれました。同連絡会議は、屋久島の

世界遺産地域の適正な保全管理の推進を図るために、環境省、林野庁、鹿児島県および屋久島町で構成。相互の連絡調整を行うことを目的に開催しているものです。

平成 25 年度 関係機関による
 世界遺産地域連絡会議幹事会を開催
 一 縄文杉の暫定迂回路について現地検討会を実施



4 月 18 日 熊毛支庁屋久島事務所での会議

山岳部利用の今後の取扱い④ 主な検討課題として開かれました。

また、今回はゴールデンウィークを控え縄文杉周辺登山道の暫定迂回路の整備が急がれていたことから、1 日目に暫定迂回路の改修状況について現地検討、確認を行い、2 日目には熊毛支庁屋久島事務所においてパトロール体制も含めて各議題の協議を進めました。

屋久島世界遺産地域には多くの課題が山積しています。会議ではこれらの課題を一つずつ着実に解決していくことが必要であり、このためにも関係機関のより密接な連携が必要であること、また、屋久島世界遺産まで真剣に議論、検討され

屋久島の植物



イワタイゲキ
(トウダイグサ科)

関東以西に分布する多年草。海岸の岩場に生え、高さ 40 ~ 60 センチほどで、群生して株立ち状になる。茎は太くて葉は接近してびっしりと互生する。茎の先の葉腋から放射状に枝を出し枝先に杯状花序をつける。
 花期 4 ~ 6 月

てきた地域の皆さまの意見を施策に活かすことが重要との認識のもと、今後の具休策の検討を進めていくこととしていきます。

着任の挨拶

屋久島森林生態系保全センター 所長 前田 三文

4 月 1 日付けで屋久島森林生態系保全センターへ参りました前田三文です。

30 年程前、学生時代に縄文杉を訪ねたことが屋久島との最初の出会いです。雨模様の中、薄暗い林内で縄文杉を見上げ圧倒されたことは今でも脳裏に焼きついていきます。屋久島はそれ以来となりますが、前々からもう一度訪ねてみたいと思っていた地であり、屋久島での生活を楽しまし、参りました。地域の行事にもできるだけ参加させて

出身は宮崎県ですが、九州での国有林勤務ははじめてとなります。前任地は四国森林管理局で、これまで北海道森林管理局や近畿中国森林管理局など各地で勤務して参りました。仕事の関係で白神山地や知床を訪れたこともありま。今回、世界遺産の屋久島で仕事ができることは感慨深く思う一方、身の引き締まる思いです。

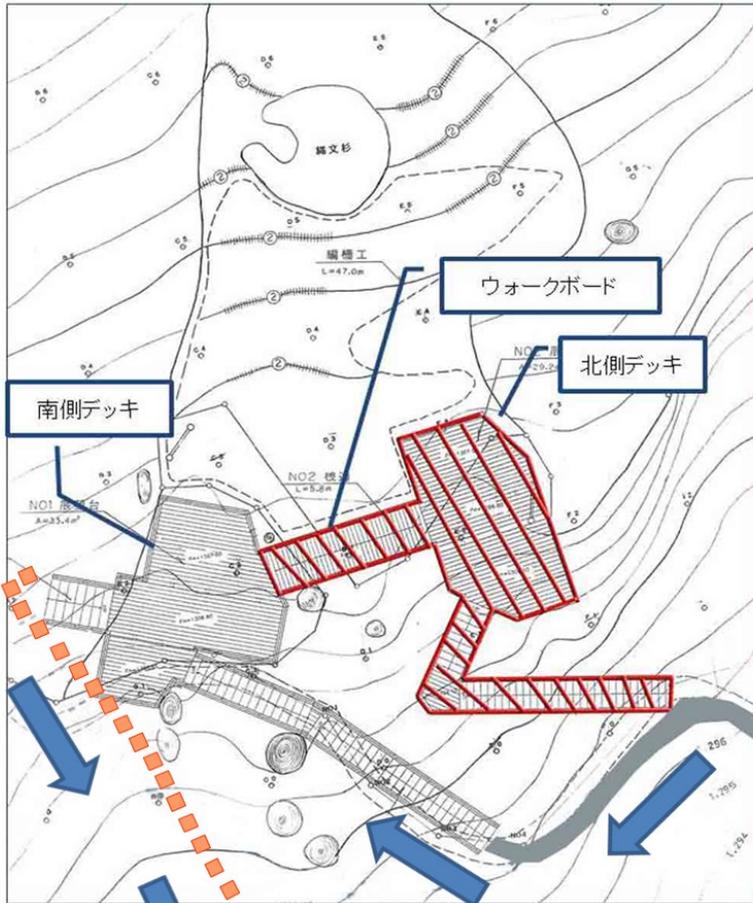
屋久島は世界自然遺産地域に認定されてから本年 20 年を迎えます。森林生態系の保全や入山者への対応など、屋久島の今と、これからについてはこれまでさまざまな議論がなされてきたと思えます。これらの経緯を十分に学び、地域に根ざした森林生態系保全センターとして業務を進めて参りたいと考えております。重ねてよろしくお願いたします。

縄文杉展望デッキの暫定迂回路について

平成24年11月に縄文杉正面の大枝の付け根に腐れが見つかり、デッキの一部立入制限を行っています。

登山者のみなさまには安全確保と混雑防止のため下記の点にご協力をお願いします。

暫定迂回路



●特に混雑が予想される時期は、関係者が必要に応じて縄文杉周辺で登山者の誘導を行いますので誘導員の指示に従ってください。

●安全確保と混雑緩和のためデッキの階段と暫定迂回路は一方通行としていますのでご協力をお願いします。

